

令和5年度第1回図書館利用者懇談会記録

名称	令和5年度第1回 図書館利用者懇談会
日時	令和5年7月6日（木曜日） 午後6時30分から8時30分まで
会場	めぐろパーシモンホール小ホール
出席者	42人 内訳 利用者28人 区側（図書館・事務局）14人 八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長兼緑が丘図書館長、企画調整担当係長兼目黒区民センター図書館長、資料係長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局（庶務係）、バックヤードツアー担当（事業計画係1人、資料係2人）
懇談会次第	1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 3 図書館からのお知らせと意見交換 4 八雲中央図書館バックヤードツアー 5 閉会
配布資料	1 次第 2 目黒区の教育 令和3年度事業報告書 図書館抜粋（5 III 図書館） 3 アンケート

主要な発言

1 開会

定刻になりましたので、令和5年度第1回目黒区立図書館利用者懇談会を開催いたします。本日はお忙しいところご参加いただきまして誠にありがとうございます。

2 八雲中央図書館長挨拶

図書館長：皆様、こんばんは。日ごろから目黒区立図書館をご利用くださりまして、感謝申し上げます。また、本日の目黒区立図書館利用者懇談会にご参加くださり誠にありがとうございます。この利用者懇談会は、図書館職員が皆様と懇談し、その中でいただいたいろいろな情報や意見交換を通じて、より皆様に親しまれる図書館づくりを目指すために行っております。本日は、この会場で皆様と懇談をさせていただいたあと、八雲中央図書館のバックヤードツアーを行い、日ごろなかなか見ることができない図書館の様子をご覧いただきたいと思います。それでは、プログラムに沿って図書館利用者懇談会を始めます。よろしくお願いたします。

（出席者紹介）

3 図書館からのお知らせと意見交換

図書館：それでは、目黒区立図書館基本方針の改定について、お知らせいたします。目黒区立図書館は、図書館のあるべき姿・方向性を示すものとして、平成29年4月に目黒区立図書館基本方針を策定しました。その後、令和3年3月に目黒区基本構想、令和4年3月に目黒区基本計画が新たに策定されたことを受け、令和5年3月に目黒区立図書館基本方針を改定しました。改定にあたっては、区の基本構想や基本計画を踏まえた整理やSDGsに対応した内容にするよう検討いたしました。図書館の基本方針については、区立図書館のサイトのほか、区のウェブサイトにも掲載されていますので、よろしければご覧いただきますようお願いいたします。

また、区では目黒区民センターの建て替えを計画しているところですが、「新たな目黒区民センターの基本計画（素案）」を公表し、6月15日から7月28日までパブリックコメントを募集しております。そして、7月15日には目黒区民センターにおいてシンポジウムを開催する予定があります。事前申込不要の先着400名となっていますので、よろしければご参加くださいますようお願いいたします。

図書館：続きまして、閲覧席のご利用についてお知らせいたします。目黒区立図書館では、令和5年の1月に閲覧席予約システムを導入しました。八雲中央図書館をはじめ大橋図書館、目黒区民センター図書館、守屋図書館、緑が丘図書館の5館でご利用いただいています。

これらの館では、このシステムで予約して利用する席と、自由にお座りいただける席があり、利用状況などによってその割合を決めています。また、一部の席については、インターネットであらかじめ予約できるようにしています。

その後、使い勝手や配置などについて、ご意見・ご要望をいただいたので一部見直しを行いました。7月4日からは、館内で利用の手続きをするときは、席の指定ができるようにしました。また、来館してから簡単な手続きをしていただければご利用いただける席なのですが、「予約席」という表示が誤解を招き、あらかじめ予約していないと使えない席と思われる方も多かったようなので、現在は「指定席」という表示に改めています。

図書館：それでは、ふるさと納税についてお知らせいたします。図書館では、平成29年度からふるさと納税による指定寄付金を活用して、図書館資料の充実を図っています。令和4年度は、子どもの読書支援と子育て世代応援の関連図書として、タイトル数660点、2,830冊を購入しました。

各図書館では、6月6日からふるさと納税コーナーを設け、本の展示を行っています。7月4日から貸し出しが可能となっておりますので、ぜひご覧いただければと思います。なお、購入した本のタイトルについては、図書館ホームページに掲載するとともに、各図書館のふるさと納税コーナーでは、紙のリストをご用意しておりますので、ご活用くださいますようお願いいたします。

図書館：図書館からのお知らせは、以上となります。ここからは、利用者の方からのご質問やご意見などをお受けしたいと思っております。よろしくようお願いいたします。

利用者：八雲中央図書館、目黒本町図書館をはじめ、全館を利用しています。この前

の利用者懇談会において、参加者から図書館で学んだことや気が付いたことなどについて、利用者がお互いに話し合える場所が欲しいという意見がありました。私は、利用者懇談会の場が一つのよい機会であると思いますが、このことについて、図書館としてどのように考えているか教えていただきたい。

また、以前は利用者懇談会の記録がホームページなどに掲載されていたと思いますが、最近は出されていないようです。記録を残すことは大切なことですし、利用者懇談会でどのような意見等が出されたかを確認し、利用者が今後の意見交換に役立てることができるよう、皆さんの目に届くようにしていただきたいと思います。それから、本日は小さいお子さんも参加している今までにない利用者懇談会となっているので、子どもたちの貴重な声を聞くことのできる進行に努めていただければと思います。

図書館：従来の利用者懇談会では、参加いただけたのは大人の方ばかりで、今回のように若い方が参加してくださったことを大変、嬉しく思っているところです。このような機会はあまりないので、有意義な場としていきたいと考えております。

図書館：普段、意見交換を行う場やスペースを確保する機会がなかなかありません。だからこそ、本日のめぐろパーシモンホールをお借りして、オープンな雰囲気意見交換することは大変意義深いものであると感じます。利用者懇談会では、これからも皆様とコミュニケーションが取れるよう、よりよい環境づくりに努めていきたいと考えております。

また、利用者懇談会の記録については、多少お時間をいただくかも知れませんが、令和5年度のスタートである第1回の記録からきちんと作成してまいりたいと存じます。なお、前回の利用者懇談会の結果のご報告については、時間が限られておりますので、本日はご容赦願えればと思います。今後につきましては、どのような方法でご報告できるかといったことも含めて検討してまいります。

図書館：ちなみに昨年度は、区制施行90周年、区立図書館開館70周年、八雲中央図書館開館20周年ということで、利用者懇談会をこれら周年行事と併せて開催しました。その中で、絵本作家のきむらゆういち先生を講師に工作のワークショップと「ぼくが絵本作家になったわけ」というテーマで講演会を実施しました。これらの様子については図書館ホームページに掲載しておりますので、よろしければご覧ください。

利用者：図書館に蔵書していないような本を備えていただきたいと思います。本を購入する際は、リクエストが多い本、リクエストは多くなくても蔵書する価値の高い本、それから予算の関係、他館との本の貸し借りなど様々な観点があると思います。本を蔵書する際の判断は、どのようにされているのか教えていただければと思います。

図書館：本の購入の仕方はいろいろありますが、例えば新刊本の購入では、書店を通じた取次会社が持参した本を複数の職員により点検・確認を行い、収集基準に沿って図書館として所蔵するかどうかを判断しています。取次会社が持参した本以外の新刊本についても、取次や各出版社の新刊案内、インターネットなどで調査のうえ、

それぞれ判断を行っています。

また、リクエストについては、まず資料相談カウンターなどご予約をしていただくこととなります。その際、目黒区が保有していない本については、収集基準、予算などの点を考慮して新たに購入するか、または他の自治体との相互貸借により、本をご用意することとなります。

利用者：例えば、一人しかリクエストのない本について、その本の価値と申しますか、ある程度その分野の知識のある人が、いろいろな本を見比べてその本を購入したほうがよいと判断されることはあるのでしょうか。

図書館：必ずしも人気の高い本のみを購入するわけではありません。もちろん収集基準に沿った形で考慮していきますが、例えば、その分野の基礎的な本であるとか、あるいはもう少し踏み込んだ内容の本であるとか、目黒区の図書館として備えて、利用者の方にぜひ読んでいただきたいと考える本についても収集しています。

なお、購入の際は、収集基準のほか、著者や出版社の実績を一つの判断材料とすることもあり、一つの条件であるとか単に人気の高いものであるとか偏った形での判断は行わず、必ず複数の職員によって判断するようにしています。

利用者：私は絵本の読み聞かせなどを担当させていただいている者です。紙芝居で「あげはのルン」という作品がありますが、目黒区所蔵のものでないとお話会では使用できないというルールがあるため、使用ができません。絵本などを勉強している私どもとしては、良い作品だと思ってもこのように使用できないことが起きてしまうこともあります。出版社の方がお勧めしたからということではなくて、図書館司書の力を発揮していただいて、選定していただければと思います。お年寄りや小さなお子さんもいらっしゃるので、例えば、希望の本があれば紙に書いて図書館の専用ボックスに入れてリクエストする、そしてその本を購入できるかどうかは別にして、選定の結果について見える形でお知らせしていくなど、小さなお子さんたちにとってもよいことだと思いますが、いかがでしょうか。

図書館：図書館には児童サービスの担当が複数おありまして、紙芝居についてもこれらの職員が収集の業務をしています。良い紙芝居が目黒区では蔵書されていなかったということなので、本日のご意見を参考にさせていただきたいと思います。

また、このような紙芝居の情報があれば研究いたしますので、読み聞かせなどの際に、児童サービスの担当までお知らせいただければ大変ありがたく思います。

図書館：それから、ご予約いただいた本は、目黒区が所蔵していなければ他館から取り寄せますし、本がない場合は購入もします。絶版の場合はお断りすることがありますが、原則として、入手できる限りは提供することとしていますので、ぜひリクエストの制度をご利用ください。

また、とても古い本については、国立国会図書館などで積極的にデジタル化することが進められています。このあと、バックヤードツアーで古い本を紹介したいと思っておりますが、その中で電子化されている本がありますのでご覧いただきたいと思います。

利用者：私は主に守屋図書館を利用しています。二点お聞きしたいことがありまして、

先ほど本を購入する際は、複数の職員によって判断するということでしたが、そのような場に私たち利用者が参加することはできないのでしょうか。

もう一点は、私がよく利用する守屋図書館は、本の貸出業務が主となっているように感じます。私は、ふるさと納税コーナーがあるのを知りませんでした。守屋図書館にはこのような良い本がある、すばらしい資料があるというようなアピールをするサービスをしてはいかがでしょうか。

図書館：本の購入については、八雲中央図書館が、区立図書館8館分をまとめて買っています。1日当たり約200冊購入しています。このあとバックヤードツアーの際に、本を選んでいる場所をご案内し、毎日たくさんの本を選んでいるということをご紹介させていただきたいと思います。したがって、一般の方が一緒になって本の選定を行うことについては、本の量が多く時間もたくさんかかるため、申し訳ありませんが難しいことと考えております。

それから、各図書館には特集展示コーナーというのがあり、そこで図書館からのお勧めの本を展示しています。守屋図書館では、貸出カウンターの反対側にコーナーをひとつ設けています。そのほか、児童書であれば2階の児童コーナーに、ふるさと納税コーナーは地下1階に設けていますが、ご意見を踏まえましてわかりやすい形に改善していきたいと考えます。

図書館：ご意見をいただいたとおり、皆さんお気に入りの作家とか分野とか、いつも利用されているコーナーへ直行して、本を借りてお帰りになる行動パターンの方が多いと思います。図書館ではいろいろな本があるということを知っていただくため、さまざまなテーマを設定して、できるだけ目に留まる場所に展示しているつもりでしたが、なかなか目に留まっていなかったことが分かりましたので、今後館内の工夫が必要であると思います。それから、ホームページでは、現在こういったテーマで展示している、とか、ふるさと納税コーナーで新しく本を買いました、などのお知らせを適宜掲載しているところですが、これもご覧いただければ知ることができないので、ホームページを見ていただく努力をさらにしていかなければと感じています。

そして、先ほど本の選定に参加したいというお話やリクエストの結果が知りたいというお話もありましたが、今日自分が読みたい本ということではなくて、図書館にこんな本があったらいいなというご意見でもあったのかなと感じました。まさにこのような機会に、いろいろな意見をいただくことが非常に貴重であると思いました。

利用者：私は主に八雲中央図書館を利用しています。今まで子ども連れで図書館に行くとよかったと感じたのは、板橋区と大和市の図書館でした。どちらもとても開放的で、子どもも大人も本を楽しめるという雰囲気でした。それに比べて八雲中央図書館の児童コーナーは、壁が高くて子どもだけしか入れないという雰囲気で、ゆっくりできる場所が少ないと思います。なぜ、このような造りになっているのでしょうか。

図書館：板橋区の図書館へは、私も先日行ってまいりましたが、公園に隣接していて

非常によい図書館だと感じました。また、大和市の図書館もとても使いやすく、大変参考になると思いました。今後の図書館運営に役立てていくため、そのほかお勧めの図書館がありましたら、情報をお寄せいただきますようお願いいたします。

ところで、八雲中央図書館は2002年に開館し、20年以上経過していますが、開館当初の児童コーナーは、隔壁がありませんでした。子どもの声が多少聞こえてくるのは構わないし、皆さんにそのような図書館であると思ってもらえたらよいと考えてスタートしましたが、静かに本を読みたいというご意見が多数あったことから、残念ながら声が外に漏れないような形に改修したという経緯があります。この改修が良かったのか悪かったのかの評価は難しいところではありますが、これまでずっと静かな環境に慣れてきた利用者にとってはあまり馴染めなかったようで、改善を望む声が圧倒的に多かったということでした。

利用者： 本日は、子どもと一緒に参加させていただき、ありがとうございます。利用者懇談会の子ども参加についてですが、区内の学校や児童館などにポスターがあると周知されるのではないかと思います。例えば、自由研究の材料にすると人が集まったり、そのほか児童館での出張図書館利用者懇談会があってもいいのではないかと思います。

そして、今回初めて利用者懇談会に参加したのですが、講義形式の机の配置とは思わず、コの字型かロの字型で発言の際に顔の見える形がよいのではないと感じました。

それから、私が以前住んでいた区では、図書館が月曜日も開館していました。子どもにとって月曜日は、土日の学校行事の振替でお休みになることが多いので、図書館が開館していると大変ありがたいと感じていました。目黒区の図書館は、月曜閉館なので、月曜日の開館を検討していただきたいと思っています。

また、日ごろ目黒区民センター児童館を利用していますが、児童館の洗面所が自動水洗に改修されたのに、隣接する目黒区民センター図書館は改修されていないことや、トイレを和式から洋式にするなど、目黒区民センターの改築まで待てないので早急に進めていただきたいと思います。

図書館： 利用者懇談会の机の配置については、コロナ禍前はロの字型で実施していました。今回は、コロナの感染状況が増加傾向にあるということで、講義形式とさせていただきますでしたが、今後状況をみながら以前のように顔の見える形で開催していきたいと考えております。

また、区立図書館の休館日ですが、確かに目黒区民センター図書館は月曜日休館となっております、ご不便をおかけしております。しかし、八雲中央図書館と大橋図書館は、第一月曜日以外は月曜日も開館しているのでぜひご来館いただければと思います。

図書館： 現在の図書館は、単に本を借りてすぐに帰るだけという場所ではなく、板橋区や大和市の図書館のように長い時間滞在できる図書館が多くなっています。そのような観点からも、できるだけ月曜開館を行っていききたいという考えがあります。

が、これまでの経緯や経費などを総合的に勘案させていただき、現在の形に至っております。もちろん時代の流れがどのように変化していくか十分注視していきますが、当面は現状の形で運営してまいりたいと思いますので、ご不便をおかけし申し訳ありませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

利用者：二つの図書館が月曜開館しているのを初めてお聞きしました。ありがとうございました。ただし、小学生が一人なので、いつも利用している図書館が利用できたらありがたいと思います。

また、品川区の図書館はすべて月曜開館としていたのですが、なぜ目黒区ではそれができないのかと、今お話を伺って単純に思いました。品川区に行っていたら、開館に至った理由や経緯などを聞いていただけたらと思います。

図書館：ありがとうございます。今すぐ実現することは困難で、時間を要することではありますが、本日のご意見等を受けとめて、検討を行っていきたいと思います。

4 八雲中央図書館バックヤードツアー

(館内見学)

図書館：普段、見ることのできない保存庫や事務室などは、いかがでしたでしょうか。本日の見学ルートは、学校支援事業の一つとして八雲小学校2年生に向けて行っているものと同じような形で実施しました。それでは、せっかくの機会ですので、本日参加していただいたお子さんたちから、質問、意見や感想など何でも構いませんので、ぜひお聞かせください。

利用者：普段見ることのできない図書館の裏側を見ることができ、楽しかったです。

利用者：最初はつまらなく感じていたけど、バックヤードツアーを体験してみて、いろいろと楽しかった。

利用者：司書の仕事に興味があったので参加しました。調べても、図書館の裏側の写真などはなかなか見ることができないので、皆さんがこのような環境で働いていることがわかり、一段と興味がわきました。ありがとうございました。

図書館：ありがとうございます。予定していたお時間が過ぎてしまいました。話し足りないことや聞いてみたかったことなどいろいろあったかと思いますが、時間が限られており、誠に申し訳ありません。本日は、皆様から貴重なご意見をいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。それでは、閉会のご挨拶を申し上げます。

5 閉会（八雲中央図書館長挨拶）

図書館長：本日は、大変お疲れさまでした。前半はいろいろと意見交換をさせていただいて、皆様の声を私どもも真摯に受けとめました。また、バックヤードツアーはいかがでしたでしょうか。図書館がこのようなになっているのかと少しでも感じてい

ただけたら幸いです。

また、どのように本を選んで、購入して、カバーをして、本棚に並ぶのか、そして18万冊の本が保存庫に収蔵されていて、表の本棚にお探しの本がなくても、スタッフが探してきて本を提供するというもおわかりいただけたでしょうか。このように図書館ではいろいろなサービスを行っておりますので、これまで以上にご利用いただければと思います。

それから、毎年、区立中学校の2年生が、職場体験として八雲中央図書館ほか、区内の図書館にいらっしゃいます。最初の挨拶の時は、中には細々とした声で自己紹介をした生徒もいらっしゃいますが、スタッフとともに2日ないし3日間の仕事を体験することで、最後の挨拶はとても大きな声で「楽しかったです」と言ってくださいます。子どもたちの成長を目の当たりにして、私どもスタッフも非常に励みとなっております。図書館は開かれた場所であると思いますので、いかに開かれた図書館としていくか、さらに検討を進めていき、今後とも区民の皆様にも親しまれるよう運営してまいりたいと思います。本日は、至らない点も多々あったかと思いますが、2回目以降の利用者懇談会に活かしていきたいと存じますので、引き続きよろしく願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

図書館：本日の利用者懇談会は、以上で終了させていただきます。アンケート用紙は回収箱か、職員へお渡ししたいと思っております。本日はありがとうございました。

以 上